滿洲日報

紅糧價錢五吊四百文至五吊
市共上車三十餘輛
遼車共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

○報日價 每月收取八角代 ○賣所及送報人并無分毫加增 ○告白刊 一行五號一十九字起碼登 一日者每行二角每登十日 行一角五分登一月者每行每日一角登長年者 價當面議從減每張四百文

Telephone No. 29.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.

發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社 (電話二九番)

一 フールスカップ 全 四圓
一 中判洋紙 全 百枚 二圓
一 半紙 野紙 二十錢
一 巻紙 四十枚綴 十四錢

一 寶筍
一 卓子 三十圓以上三十五圓
一 卓子掛 四圓五十錢以上十三圓五十錢
一 厨房用戸棚 六圓以上十二圓 七圓五十錢以上十圓
一 箱火鉢
一 宜德火鉢
一 對 二圓以上三圓五十錢 六圓以上九圓

特別廣告

日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告
營口出帆
●相模丸 卅一日出帆 太沽、芝罘、仁川 釜山、長崎、門司、神戸行
●山東丸 廿六日午前出帆 太沽、芝罘、門司、神戸行
●横濱丸 大連出帆 三十日午後二時 門司、神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ 未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口 代理店 旗昌洋行 (電話二六番)

大阪商船株式會社 瀛船營口出帆廣告
●能登丸 二十九日 入港 營口公園地横
代理店 ブッシュ兄弟商會 遠來洋行 (電話二十三番)

瀛船出帆廣告
●金龍丸 廿三日 芝罘行
●第二琴平丸 二十五日 大連、門司、神戸行
松茂洋行船舶部 海岸東稅關西 電話(五二 五七)

朝日ビール、スペシャルライト 廉價販賣仕候 滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部 (電話五二番)

社告
今般左記各地へ本社支局及販賣所を開設致し其地に於ける滿洲日報販賣廣告印刷物取次等の業務に從事為致候間購讀及依頼者諸君は支局又は販賣所へ御申込被下度此段謹告候也
大石橋市街 瑞穗洋行
遼陽西門外 芳文館
奉天大南門內景祐宮胡同 本社支局
大連盤城町 岡野新聞舖
安東縣新市街 天祐公司
新民府 泰東公司

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓
横濱正金銀行牛莊支店
本店 横濱 支店 出張所 神戸 東京 長崎 大阪 倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇 孟買 香港 上海 漢口 天津 北京 大連 旅順 奉天 遼陽 芝罘 鐵嶺 安東縣
(電話十番支配人室二百八番事務室)

正隆銀行
營業項目
一 定期預金 (長期存欵) 三ケ月 五分 六ケ月 按年五分五厘 一ケ年 六分
一 當座預金 (暫存欵) 按年 四分五厘 日歩 一錢二厘三毛
一 小口當座預金 (零碎暫存欵) 按年五分一厘 日歩一錢四厘毛
一 送金為換取組先 (滙兌) 東京、横濱、大阪、神戸長崎、上海天津の横濱正金銀行本支店
一 貸附金 (放利)
一 附帶ノ業務 一般財產並に土地建物の管理を引受くること 不動產抵當貸附金の委託を引受くること
本行受入の幣は軍票及正金一覽拂手形は勿論墨銀小銀貨に至る迄精々御都合宜敷樣可相働候尚近々の內過爐銀の取引をも開始可致候
營口西北街第二百三十號 (日本人會西隣) 支配人 深水十八 (電話二百十番)
軍政署認可

●ぬ號勸業貯蓄債劵(五圓劵)發賣

宅洋行
啓者敝行專賣綿紗粗布緞子絨布手巾花巾洋胰火柴鐘表等類價值格外克己並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽欵待周群俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至 總司理人 田中賴之助 謹白
開設老爺閣街同盛德院內 電話(店一八三番 住所五五番)

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉絲布疋火柴洋麵糖煤鹼貨發行並匯兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極為利便囤貯油餅豆米麥更為合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是有 總司理人 葉亮卿 謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運瀛船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各商北客經理有年誠信相孚遐邇知之 理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

仁裕號
係裝運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈 營口西大廟街路北警乙第十三號

志岐組
本組開設營口綏定門外專辦架造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價值格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名聲其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸 本主人謹白

三井
電話 第六十六号 第九十一号
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地(青堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候 (電話百二十八号)

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元 分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

啓者火災之害影響於商界者最鉅營口為通商大埠百貨屯集資本浩繁有保險以維持之可以有恃無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有王鹿芹朱斐章郭漁笙先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請為代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤為穩妥諒亦諸貴商所樂聞乎如蒙賜顧請逕至大德亨內面議可也

三井洋行啓

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數吝惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即殷實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉 僕等承三井洋行諄囑為代理日本明治火險公司保險各事 僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代為介紹且保費亦較他公司克已請公賜顧請 駕臨大德亨內面議不誤

王鹿芹
朱斐章
郭漁笙 仝啓

洋行 電話 第六十六号 第九十一号

日本官造紙煙專售告白
本號現開設在大連、安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺、等處專售日本官造紙煙朝日(紅旭牌)大和(雲花牌)敷島(蓬島牌)嫣嫣咧(軍旗牌)降佑來福(雙仙鶴牌)利和(百合花牌)提利(櫻花牌)斯達(星象牌)哥耳天巴德(蝙蝠牌)等九種及煙絲各樣
東營口西北街(舊代々木公司) 日本官煙營口專賣處

上海 中井洋行 專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造各廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書稍各式紙料郵票包棉紗料草板紙張并本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也 中井洋行

DENTIST, Dr. KOJIMA.
牙大夫學士兒島醫院
●語曰齒全壽長●營口元神廟街
告白
啓者本院主從來於森醫院齒牙治療從事則近時稍感狹隘因今別卜居開院新式諸器械完備無遺憾專足於敎治牙疼施術窩金銀充塡落齒補足妙技奐有齒牙疾患者希咀嚼快者欲皓齒金光燦爛美者速來知神秘妙執事

周 鐵道 遼河 裕和盛運輸局 (電話八十一號)
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年并店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴雲 謹
運輸部主任 高濱麟太郎 啓

志岐組 木料棧 材料出售
啓者本棧開設鎮口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價值格外從廉克已凡中外士商光面議顧請到本棧

丸重轉運行
啓者 本行前經關東總督之特准開辦東清鐵道轉運行專代客裝運貨物安全速達價亦格外公道以致名聲日增今又各車站設均分莊運輸決無誤如蒙貴商光顧請面是議荷
營口西北街(電話十八號) 牛家屯車站(電話四十六號)
既設分局 遼陽、奉天、昌圖各車站

營口 承文信記書坊
現寓西大街粵東會館前阜豐棧內專售古今書籍及石印教科新書石板石粉筆等一概俱全如蒙士商賜顧者價照批發格外克已不悞 本號主人謹白

關東玻璃公司
本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者請至 營口永世街
第五號門牌便是

青堆子 營野玻璃廠
玻璃器什遠運必有破壞從價不廉茲本主人開辦玻璃廠聘請多好手藝之人自造各樣洋燈罩子瓶碟等凡所有玻璃器什類一概發賣價值公道主顧不誤官商幸給顧光特告白
本主人謹白

SP 糸平公司
本舖在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品貨美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布類列下東洋各色絨布毯子各式被面各色布疋各種綢布 其他一切綢物概行發賣並特約販賣(正日光)皮酒價及各樣雜貨大廉減特此廣告 朝日ビール特約大販賣
營口元神廟街元神廟南邊路西 (電話百九十一号)

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國士布寄樣自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街 東櫃 (電話九十五番)
西義順棧內 西櫃 (電話九十八番)

東省巡航公司 業務廣告
本公司は牛家屯東稅關西稅關河北間に小蒸瀛船ホーチン號を往復せしめ牛家屯河北停車場發着列車の連絡を取り旅客の迎送をなす
本公司は牛家屯營口河北間貨物の運搬及曳船の依頼に應す
御用の節は電話二百三十六番へ御一報煩し度候
本公司乘船場は牛家屯停車場前棧橋東稅關棧橋西稅關棧橋河北停車場前棧橋東稅關棧橋西稅關東部にあり切符發賣所は各乘船場及船中にて發賣す

賃銀
自 \ 至	河北	西稅關	東稅關
牛家屯	三十錢	三十錢	二十錢
東稅關	二十錢	二十錢	
西稅關	十錢		

回數切符は特に割引可致候

列車連絡時間表 (日本時間)
東稅關午前五時發 牛家屯六時三十五分發列車に連絡
仝午前八時發 河北七時發列車に連絡す
西稅關午後六時四十分發 牛家屯發九時三十五分の列車に連絡
牛家屯午前九時四十分發 牛家屯九時十分着の旅客を迎ふ
牛家屯午後八時發 營口牛家屯間通勤諸士の營口歸りの便を計る
河北午後六時發 河北五時四十分着の旅客を迎ふ

營口元神廟街第五十五號
東省巡航公司 謹白
電話番號二百三十六番

安東縣市場通七丁目 合資會社 秋田商會支店
麥粉、白糖、白米、玻璃板、亞鉛板、鐵線、洋釘類、建築上工用具及船具類 他諸機械ノ製作修繕
洋鋼鐵
安東縣東大街 合資會社 秋田商會支店

●印判彫刻 ●ゴム印
●活版名刺
●各色印肉インキ 附屬品一式
各位の御引立に依り日に月に隆盛に趣き候段奉謝候今回技術精巧なる職工數名を到着致候に付分店設立と同時に一層勤勉を以て期日正確價格低廉貴需に應ず可く候間多少に不拘御下命被下度此段開店員恭上仕候御報知次第店員參上仕候
刻字舖 尾崎洋行
營口永世街三十七號
奉天小西關大街二七八號南側 尾崎洋行分店

社告

我社の一週年
本紙の大發展

來る二十六日は營口占領第二次記念日にして又我社創立第一週年に當る乃ち本紙は此記臆すべき吉日を機とし我社の大發展を行はんとを期し既に新式印刷機を購入し活字を一新し職工を增加し新聞印刷以外汎く一般印刷物の注文に應ずるの準備を整へ紙面亦從來の六段を改めて七段總振假名附とし勉めて其內容を豐富流麗ならしめんが爲め更に記者を增聘して已に其發途に在り創刊以來幸に讀者の眷顧により我社は日進月歩の域に進みつゝありしと雖も未た大活躍の時機を捕捉するに至らざりしが今や滿一年にして更に大に發展を策するの好運に際會せり因て我社は當日の吉辰を祝すべく特に本紙を十二頁と爲すの案を立て之を發表せるに記事意外に增加せる爲め更に二頁を增して十四頁と爲し材料を精選する外特に其趣味を多からしめん爲め寫眞銅版及び英春畫伯及び其他の目下來遊中の筆に成れる繪畫十數種を挿入し又別に添附するに最も卓拔奇警なる諷刺畫を以てす重ねて此に告白して讀者の諒を乞ふ

七月　日　滿洲日報社

東京電報

●旅順降將有罪（七月廿日午後着）露國軍法會議はステッセルを死刑にフォークを禁錮二十年に處するとを宣告しアレキシーフは譴責せられたり

雜報

●シッフ氏の日本觀　極東漫遊中なりしジェーコッブ、エッチ、シッフ氏は過般歸國し其日本漫遊に關する感想を陳へて曰く日本に於ては何人も孰れかの業務を執り居りて遊惰に日を送る者とては皆無なるが如く國民は凡て慇懃にして溫厚なり這般戰爭の結果に就ては何事をも明かす又之を認めず只將に其產業を開發し商工業を進捗せしめ且つ戰捷の結果新に開かれたる諸市場に對し相當の利權を收めんことに營々として着手せるのみ是等の諸市場より外國民を排斥せんとするが如き傾向は全然之無く滿韓の門戸開放に關する公約は嚴密に之を履行すへしとは日本の有力なる政治家の確証言を爲すを憚らざる所なり韓國の如きは漸次日本の有效なる指導管理の下に立つことゝなれるが是れ該老朽國の爲めには尠からざる利益となるへしと尙氏は日本國に於ける天然の富源は孰れかと言へは饒多ならざるやの感あれとも國民は勤儉にして才智あり且つ精力に富み戰爭の爲めに被りたる負擔も其重きを感ぜざるものゝ如しと言ひ租稅に就ては何れも國家に巨額の歲入を生ずるも所得稅は未だ全然滿足すへき好結果を生ぜざるものゝ如しと指摘し更に減債基金の確實なることを說き鐵道國有に對しては政府買收の各鐵道は概して大なる收益を生ずる能力を有するものにして實際買收の完了せる曉には當然國家に巨額の收入を生ずるに至るへしと述へ金融狀況に就き銀行業は廣く全國に於て發達し通貨の鞏固なる基礎を有することを述へて日本銀行の制度に及び戰時中と雖も尙能く金融の不當なる緊縮を抑制し財界の急變を阻止することを得せしめたることを賞讃し預金の膨脹手形交換の發達等を引証したる後ち左の如く結論せり

日本國民は徹頭徹尾其明白なる運命を自覺せるものゝ如く縱し事事に關して喋々せざるにもせよ這般の戰爭に由りて獲得したる極東の覇權を把握維持せんとするの決意斷として動かす可からざるものあるや顯然たり日本は淸國に對し最も完全なる協商和親を得んことを努め且つ今後の外侵に對して該國を支持すへきや疑を容れずと雖も而も亦之と同時に他の諸國に對して平和親交の關係を維持する爲めに有らゆる力を盡くすことを怠らざるへし

●滿鐵設立委員會　南滿鐵道會社設立委員は十二日付を以て任命せられ翌十三日其辭令書を發したるか第一回の委員會は各委員の謂纏り次第可成速に開會する筈にて遲くも今月中には其運に至るへく又會社の設立に關しては政府より豫め命令書を委員長の手許に交付し設立委員は此命令書に基きて設立に關する手續を爲すことゝなるへし而して其命令書には會社の資本、鐵道の修築、ダーシの問題等盡く包含し居る由にて最初一二回の委員會を開きて株式募集又は定款の作製其設立に關する諸般の準備に就き各委員に於て夫々分擔を定めて調査し取り急ぎ設立を告ぐる筈なりと云ふ

●遼東海軍修理工場　旅順海軍工作廠と大連海軍工作部は從來別個獨立の海軍工作所なりしか各種の軍需機械作製上不便尠からざるより今回海軍省にては遼東海軍修理工場の名の下に凡ての工作業を統一せしむるとに爲したりと

●南淸の煙草トラスト　滿洲に於ける本邦煙草販賣業は近時米國煙草に壓倒せらるゝの狀勢なるより江副廉藏、久米民之助兩氏は大に之を慨し共に合同して大に事業の擴張を圖ると共に契約纏りたる由なるか南淸地方の一手販賣者は三井物產會社なるを以て同社と結合して一大トラストを組織し資本金も現在の江副、久米兩氏の倍額六十万圓となさん計畫なりと云ふ

●二年兵役制　多分明四十年入營の步兵より實施せらるゝべく又た該制度實施上は各師團を通じて約三百萬圓の經費を增加すべしといふ

●露國海軍參謀本部　露國にては今般海軍々令部中より戰略部を分離獨立せしめ海軍參謀本部と稱し定員の確定するまで當分將官一名を部長として六名の佐官七名の尉官外事務官一名を以て同部を組織する旨海軍大臣の命令を以て公布したり

●遼陽州警察制度の革新　遼陽新知州鮮俊英氏の着任以來未た其手腕の窺知するものなかりしか愈々警察制度に革新を加へ來る八月一日を以て之か實施を見るに至ると云ふ一說によれは這は趙將軍の意に出でたるものにて鮮氏の赴任前既に復案決定し居りたるなりとも傳へらる今革新の要項を聞くに前知州の經營に成りし巡警總局及び衛生局を廢し是と同時に撫卿巡警總局を置き警察衛生文渉等の事務を取扱ふ本局の下に東路西路中路南路北路其他の各區に分局を設け以て警察行政の統一普及を謀り正巡官として敏腕の聞えあり于中漢氏局長に榮任する由なり而して此革新と共に元十六師團法官部跡家屋に警務學堂を設置し各路より巡警志願者を募集し警察行政に關する學課を授け八個月を一期と定め卒業後巡警に採用すると恰も本國に於ける巡査敎習所の夫れの如くにし該學堂の敎官は此程着來せし三重縣人增井茂松氏之に當り大に警察行政の面目を一新すると云ふ增井氏は東京外國語學校卒業生にして淸語に熟達し學歷亦尠からざるといへは適任者たると疑はざるへく既に該學堂入學生は百名の豫定人員なるも志願者百三十餘名に達しおれりと尙從來衛生局顧問として在職せし諸石熙一氏は此際巡警總局に入り局長于氏を輔け傍警務學堂に餘力を注ぐ由なりと聞く（遼陽通信の一節）

（松島の夏景色）

●樺太の新市街建設　樺太民政署は現在のコルサコフより陸上十里のウラジミノフカに移轉して同地には一の日本市街を建設しウラジミノフカ、コルサコフ間には鐵道布設の計畫あり目下其準備中なるか廳舍、官舍其他の設備を完了するは二年を要する由（遼陽通信の一節）

●外務省の經費膨脹　外務省の來年度豫算は目下編成中なれば其內容を知るを得されとも統監府設置の結果從來韓國にありし公使館、領事館に要せし費用は全部控除せらるへきも一方には大使館の新設あるを以て在外公館の費用は前年度と大差なかるへく又目下官制編制中なる關東都督府が外務省の所屬となるにより新に同都督府經費豫算の增加するあり其他新事業として滿洲、南淸、沿海州等の領事館新設費等を計上すへければ本年度豫算に比し大なる增加を見るへしといふ

●鐵道速成計畫　鐵道作業局にては目下明年度鐵道建設費概算を編成中なるか其大要は現在の年度制額九百五十萬圓を倍加して約二千萬圓となし一方には夫の速成を要する四大幹線の工事費（總哩數六百三十二哩餘工事費概算一億一千万圓）を來年度以後十個年の繼續費として計上し一方には本年度より着手せる富南線其他の豫定工事年限を繰上げんとするにあり其計上額巨額に達するを以て主務省が果して之を容るゝや否は疑問に屬すといへり

●豆滿江の增水　其筋に達したる電報に依れは十日豆滿江增水の爲め會寧橋梁撤収中橋落ち竹內少尉以上工兵下士卒約三十流されしも一名丈け行衛不明今尙搜索中なり他は何れも無事負傷なしと

●樺太と雞豚業　樺太民政署にては此程種豚二百五十頭種雞二百羽購入して之を同地の移住民に分貸し將來大に雞豚の繁殖を圖る目的なりと云ふ

●貴公子と特待生　貴族院議長德川家達公の嗣子家正氏は學習院出身目下帝國大學政治科第二學年生にて成績優等の廉に依り次學年より特待生の榮譽を擔ふことゝなりしが從來學習院より同大學に進みたる者の成績は概ね良好ならすとの世評あるに對し氏の如きは盖し華冑の名に恥ざるものなり

●野菜類の滿韓輸出　大阪に於ける野菜類其他の種類は滿韓及濠洲地方への輸出歲を追て增加の傾を呈し殊に兩三年來は輸出高の增加夥しく又取引も圓滑に行はれしより當事者は此際取扱人が競爭の結果粗品を賣らんを恐れ組合を起し不日總會を開き協議を爲す筈

●大連通信

七月十九日　刀水生

▲第二艦隊の入港　壹岐沖の島浪速等は出羽中將之れを率ゐ千代田鵲田等は中尾少將之れを率ゐ入港中なり而して一昨十七日獨逸軍艦フイルスー、ビスマトク號プロイジン少將座乘入港皇禮砲と出羽中將に對する禮砲を放てり我又之れに應す是れ大連に於て皇禮砲を交換したるの嚆矢とす昨日又米國軍艦コルマルト入港せり明二十日第二艦隊出港一週間演習の上更らに二十七日再ひ入港する豫定なりといふ

▲學校生徒來る　曾て報道爲したる滿洲觀光の學校生徒來れり即ち去十八日夕豫定より一日速く琴平丸を以て其第一着分大連に上陸せり其數五百四十六名學校別を擧くれは東京高等師範、東京師範東京府立第一中學、第二中學、第三中學、第四中學、染織學校及ひ鹿兒島造士館等にして職員其他の重なる同行者を數へんに高等師範の校長那珂通世造士館男爵岩崎行親女子師範學校長の林吾一東京府第二部長事務官岡五郎等の諸氏なり

▲大連兵站指定旅館　は東洋ホテル、遼東ホテル、大連ホテル、川卯、吉野旅館、關東旅館等にして其規定の宿泊料は大將七圓、中少將五圓、佐官三圓五十錢、尉官三圓、準士官二圓三十錢、下士一圓八十錢、兵卒一圓三十錢、雇人馬丁一圓十五錢、但し以上は一泊三食なり

●八綱丸破壞竣工　遼河中流に沈沒せる八綱丸の破壞作業は去る二十日正午十二時を以て完了し昨日軍政署副官及び港務長の撿定終はりたりと云へば今後の航通は自在なるへしと云ふ

●近江病院の開院　元神戶の開業醫師たる近江周友氏は今回永世街二本町に近江病院といふを設立し內外科、婦人科、眼科、梅毒等の治療に從事する由なるが同院主は今年六十歲の高齡なりといふ

●本願寺の日曜說敎　當地本願寺出張所に於ては定例に依り本日午後一時及八時半（營口時間）の兩回に於て日曜說敎を開き（信仰は處世の本義を解決す）てふ演題にて寺本布敎師より說敎あるよしなり

日報俳壇

雲の峰澎湃海灣に立ちにけり　牢骨
蝙蝠や顏子の宿は燈もおかす　老兵
大廣間妻を迎ひて風かをる　旅鳥
門涼み今宵も似たる話題かな　千曲
溢團扇怒れる達磨書きけり　古江生
ぶらさかる毛虫馳せぬく女哉　木嬰
蚊を吸うた舌出して見よ蟾蜍　小僧
繪團扇や涼し味のある須广の浦　醉雨
青簾捲けば斜陽の歸帆かな　稻波
大榎毛虫おつる事しきり也　野梅

▲夏季雜題
▲課題　雲の峰　蟬　午睡　句數又期日を限らす七月末日まで
本社編輯局俳壇宛に御投稿を乞ふ

遼陽に遊て　自薰

炎天に白塔きらり〳〵たる
蚊柱や白塔二千二百年
首山堡に登り忠魂を弔ふ
千代匂ふ駐蹕山や國の花
首山堡に故の渡邊大佐を弔ふ
影追へと追へどもとふし夏の蝶
南山の忠魂碑にひざまつきて
梧桐咲くや匂こぼれて玉の花
あふぎ見る方から風の薰りけり
旅順に遊て
百合咲くや兵士とものあと訪はん
蓮の香に三万の魂まつらはや
林公使を旅順に送る
しだり尾の煙ひり六本夏の海
大連の繁昌
繁けり合ふさくらや去年の貫土產
松浦伯を大連に送りまゐらせて
月やとる男波女波や夏の海

關內外鐵道 上り 營口發前八、一〇 七、〇〇 溝幇子同九、四五 九、〇〇 錦州同后三、四五 二、〇〇 下り 山海關發前七、〇五 錦州同后三、一五 溝幇子同二、四五 四、四五 二、〇五 四、四〇
東淸鐵道 上り 新民屯發前六、〇〇 溝幇子着同九、五七 下り 營口發前九、三〇 后九、三五 大石橋發前八、三五 后二、一五 新民屯着同六、五七 溝幇子發后三、〇〇
淡谷 本號開設營口東青堆子發賣 栢木元料 紅松料 木油 松方料 栢木方料 荒木 大小 標子 廿四尺 栢木 大杆 木板 此木材出售
會席 營口警務課
和洋諸雜貨食料品卸小賣 奉天小南門ノ後 中越洋行
天氣豫報 營口地方 自廿一日午後六時 至廿二日午後六時

雜報

●女學生の思想

大阪府清水谷高等女學校にては去月十九日生徒全体を一堂に集めて大凡三十分の間次ぎの質問を試みたりこれ一般女性を窺ふべき料たらん

第一　女子に最も必要なる德義
第二　女子に在りて最も不德と思ふ事
第三　女子の最も大なる性質の長所
第四　女子の最も大なる性質の缺點
第五　女子の第一に勉む可き事
第六　女子に最も適當なる仕事
第七　女子に最も幸福なる境遇
第八　女子に最も不幸なる境遇
第九　世間にて最も賞替す可き事
第十　世間にて最も擯斥す可き事

右十問を發し說明を與へて各自の所思を自由に記述せしめたるものを百分率に改めて夫れ〳〵趣味ある答案を得たる中に第二問其他の答辨を擧くれは

▲女子が不德と思ふ事

種別	各學年の平均	種別	各學年の平均
嫉妬	一九、八	不誠實	一〇、七
傲慢	一五、二	粗野	一〇、五
不節操	一三、六	依賴心虛弱等	一二、〇
多辯	一二、〇	不明	六、二

▲女子に最も幸福なる境遇

種別	各學年の平均	種別	各學年の平均
圓滿なる家庭生涯	五〇、七	良緣	三、七
身體の健康	一〇、二	良子女	三、五
父母の長命	九、五	他の尊敬	三、五
學藝に長す	六、三	雜富裕美貌學生等	三、五
良性質	四、四	不明	五、七

▲女子に最も不幸なる境遇

種別	各學年の平均	種別	各學年の平均
一家の不和	三四、五	無教育	五、二
兩親の早失	一七、五	世人の擯斥	三、〇
配遇の早失	一二、六	雜貧究女	五、六
虛弱	七、八	不明	六、七
獨身生活	七、二		

▲最も擯斥す可き事

種別	各學年の平均	種別	各學年の平均
不誠實	二九、二	邪慳	五、九
盜賊其他の犯罪	一九、六	非愛國の行爲	三、九
不忠孝	八、八	惡口	二、八
不品行	八、三	雜嫉妬傲慢卑屈奢侈	二、四
貪慾	六、九	不明	三、二

●狐の艶子　豈敢九尾の狐にあらぬ人間異物の山下エン事源氏名艶子を昨今遼陽界隈にて狐の艶子と呼び立つるに至りしは過る慈善演藝會にて勿怪の幸にて千本櫻の狐忠信に扮し人氣を蒐めたるよりそれ迄艶子の名は知らぬ人多かりしに引換へ嬌名一時に勝れて高く誰謂となく狐の艶子とて粹界の立物となりたるにぞ御本人の滿悅は喇嘛塔よりも高く御關係筋の鼻下長さ加減ト木子河よりも長しとの事左もあるべき筈にてそあれ去るに就けても艶子は拔天式鼻持のならぬ藝妓なれや三味線枕の夢幻境に一種の怪魔力を有すると殊に粹士の的となり色即是空と觀せしものも一たび艶子の閨裡に伏せらるゝ時は色即是實と叫ぶに至ると云ふ噂は艶子のため益々人氣の種となり浮かれ男の通うもの多かりけるか元釀造部の職工中川某とて優男生は博多のもの故遊藝に嗜みあゝて過る演藝會に雛方に入込みたる際艶子と昧な仲となり爾來萬歲樓なる艶子の許へ繁々通ひおりたるも今は無職の太夫なれば鐚一文も融通のきく筈なく兩人苦策を運らしたる末手を携へて隨德寺と洒落込む意にや七日七夜雲匿となりて淸人の家に潜みおりたるを發見され再び萬歲樓に皈りたるもの〻何となく氣持惡しかりけん樓主も亦虫の附きし艶子を抱へおくは不得策と感じたるにや此程艶子は丸山館に鞍替してれと同時に中川某と昧な關係は絕ちたる樣言觸らしおるも這は世間の糟いでと〻仔細を知る人の立咄を其儘扱ては油斷のならぬ狐の仕業かな

●無賴大工の亂暴　大工左官仲仕なぞと云ふ烏合の奴原が藥飮酒に醉拂い其結果はお定まりの罪もなき他人を毆ぐり果てはお上の御手數を煩すこそ實に嘆かはしけれ、玆に南永世街に住む宮地喜十郞(廿六)と云ふ無賴大工一昨日午後六時頃平野町入船亭に招かれ亭主谷初次郎と飮酒中少しく醉の廻りたるに乘じて十八番の二次會てな調子で同家を切上げ二人り連れ立ち危險げなる千鳥足を引摺ながら同町稲樓に登樓し怪しげな呂律にて酒肴を命じたるに同家の女將チカは非常に酩酊せる樣を見て取り言葉を柔らげに前記入船亭に送り屆けんとせし所喜公升ちも大に怒りヤイコラの切掛に乃公が金を持たぬと思つて歸すのかと亂暴にも疊の上に居ならぬ雨には驚ろかぬジアヤ〳〵と小便なし尙それにても飽き足らず七面倒臭い此阿魔奴といきなり女將チカの面部右眼の上を拳固を以て擲たるとてろ何かは以て堪まるべきウンと仰向に倒れ人事不省となりたる大騷ぎに同家の仲居それと見て軍政署に駈け込み憲兵の出張を仰ぎたるに喜公先生蜘蛛の御紋を見るなり今迄の馬力に引替へ平蜘蛛の如くなつて詫びたるもドッコイ其手は桑名の燒蛤と其筋に引致せられたりとは近頃小氣味のよき話なり

●三時間乘廻つて廿錢　幾等宛がひ扶持の淸人東洋車でも三時間餘りも乘廻つてタッタ廿錢銀貨一枚とは隨分酷いお方、元神廟街飯塚工程局の雇人鈴木藤吉(廿四)と云ふ若武者は一昨日自宅より乘車して正金銀行に至りそれより西稅關に行き約一時計り待せ置きて歸途に就き同工程局前に下車し僅かに廿錢を與へて去らんとするに淸人先生其不當を訴へ增賃を請求すればホウ〳〵と言捨て小走りに內部に入らんとするに車夫は引留め再び哀願すれば藤吉はエー小障なといきなり泥中に突き倒したる所扨て斯くなれば獸類似のチャンコロも却々承知せず遂に其筋に願出でたれば早速藤吉は赤紙の呼出狀を受け其不埒を懇々說諭せられた上尙廿錢を出して漸く無事に納まりたりと云ふ淸人も可愛想なものでグースナ

●初代お雪歿る　三味ドッコイ機械水雷を以て營口六千の甲鐵艦を破壞し縱橫無盡に撫で切り總に現金にて無慮二千兩衣裳其他附屬品一切にて一千七百五十兩都合三千七百五十兩を捲き上げ知らぬ顏の半兵衛さんを極め込み誤用船にあらぬ尻に帆かけて凱旋したる第三樓初代お雪は如何なる方面に費ひ果せしや又候元の文なしとなりて四五日以前古巣に舞ひ戾りたりと云ふ就ては彼が斯くの如き大金を半年經つや經ずに二箱も美事費消せしにつき淺からぬ深か〳〵い因緣のある事なれば追つて讀者に報道する所あるへし

●酌婦のドロン　苛酷の扱ひを苦にして逃げし乎將又情夫に誘拐せられて姿を隱せしにや元神廟街醉月の酌婦帶谷チヨは去る十九日撿黴の爲め營口醫院に行くとて家を飛出したる儘今に歸らざるに樓主は何處へ消へ失せしやと八方探し廻れども一向行衞知れず昨日其搜索方を其筋に願出たりと云ふ公務多忙のお上を種々の方面にお手數を煩すものなり

●兒嶋聯隊長の觀劇評　今回遼陽の滿洲座演劇は善く出來殆と批難の餘地がない、舞臺の道具立なども遺憾なし、ウム俳優の批評かね作間は本年三月遼陽で演じた同座におらなかつた、新入と見へるが慥に眞目がある望のある俳優であるが、一の僻として臺詞の語尾に拚へる氣味があつて耳障りになる、ウム伊勢かね伊勢も春日井も微細な所作に注意しておる、春日井の村岡勤平花途の引込際を叩いて驅入る所なぞは實に絕妙であつた、伊勢の若菜姬花途引込の手際は又格別に思つた、彼の花途を引込む最後の間際に一寸顧みた所なぞは、善く出來たもので此微細な所作に無量の働がある、ウム併し孰れも藝道が熟達して來た、これは熱心か支配する結果である

●遼陽喇嘛塔靈地　綠城生

古來神聖な神社佛閣が妖魔の巢窟となりて、多くの人を奈落の底に引き摺り込む紹介者となるのは、不可審議な因緣である、滿洲最高唯一の喇嘛塔は遼陽城外、遼陽停車場より約三町の位置に、屹然と聳えて其高さ六十間餘、大坂天王寺の五重塔のそれよりも尙高いのである、さうして其附近一體は稍高く涵る計の綠樹は、枝葉を交へて淺翠濃綠涼味掬すべく、丈餘の佛像は雨淋風打幾千年、剝褪して古雅老蒼の趣を留め、さびしげに壇上に座して喇嘛塔に對し、閑寂幽靜の風致を添へたるところは、眞に遼陽唯一の景勝靈地で、當年喇嘛塔の斯地點を撰び築造されたのも蓋し故なきに非ずである、然るに何事ぞ、此の靈地而かも心身を養ふ恰當の地に近頃暖風漸く浸染し日光冴えたる夜、さては淸風颯々たる晚、彼の怖るべき魔物の紅裙白首は軟骨男子を毒手に弄するにや、三々伍々男女の雙影は樹林の間に出沒隱見せらる這は、同附近に二軒の旗亭あるによりて、或は誘引挑發的に盛粧紛黛して同靈地を侵すのであらう、予は望む古來の靈地は靈地として永く道義的感念を養ふの場と爲し是等の靈地へは當分の內紅裙の誘引的散步は成るべく避けて貰いたいのである

投書籠

▲オイ〳〵氷屋の小僧何が內地の公園ダテ、貴樣は內地の公園が眞正の公園と心得て居るのか內地のボロを外國までも持出し度く無ひから仙林主人の樣な小言も出るのだよ精々勉强して氷をウンと賣てセメテ上海か香港までゞも行て見て吳れ西洋人や在外日本紳士の公園なるものを(紳士)▲元神廟街の三階には白首は居らぬ由二階の星とか稅關とか書た所には妙な狸が雄やら雌やら澤山飼て居る樣だが多分彼れが公園までも出掛けるダロー(籠の鷄)▲昨日の貴紙三面雜報欄內中髮結の內職てふ記事中山金の牛直段云々とは如何なる事に御座候や拙宅にて淫賣屋をせし如く世間より誤解せられては甚だ迷惑至極に存候間宜敷御說明被下度候(平の町山金)▲俗諺に云ふ人の疝氣を頭痛に病むとは恐れ入谷の鬼子母神決して〳〵神聖なる山金さんの事には無之候該記事を今一度御熟讀被下度山金と云ふ事は花柳界の通語にして其說明は表向き料理店に登樓し正々堂々と沈沒する時は假りに十圓の沈沒料を支拂ふべきも親方には內々にして本人双方示し合ひの上〇〇すれば其半額之れ即ち俗に云ふ山金にして換言すれば半額と云ふ意味なり決して當夫婦の記事には無之候間御心配遊すな(三面子)▲愈々紀念祝賀會も四五日となれり料理店計り浮かれ一般市民の催しは至つて尠なきよう思はれるが此際一奮發して大に光輝ある此紀念日を祝すべしだ(愛國民)▲近頃投書かでに道路の小言が殆ど每日の如く出て居るが島國根性の相も變らず多い在留民には驚くべしだ一二邦人の住居する道路までも仰せの如く修理して行けば軍政署は幾百萬圓あつても足らない下らぬ我田引水論は好い加減に止したらどうか子(大國民)

頭陀袋

道聽塗說に曰く、其理由は知らねども或る官憲は居留民某に三ケ年間滿洲に足を入るゝことを禁ずとの退淸命令を宣告し、間もなく復た三ケ年間その退淸處分の施行を猶豫すとの言渡を爲し、遂にその官命は零になれりと、是れ實に近來の一珍聞にして抑亦その手際のあまりに手品的なるや或る者曰くこれ正しく所謂日本外交術の本手を顯はしたるものなり、即ち日淸戰役に於ける遼東の還附、日露戰役に於けるポーツマスの筆法を能く會得したるものにして、取りたれ共還し、勝ちたれ共讓るといふに酷似せざるやと、吾人は唯之を耳にすると同時に、徒らに官威を以て民人を弄すとの誹りを如何にして免るへきかを恐るゝのみ、噫

一瀛船貨物運搬業
一浮船及瀨取請負業
右營業精々勉强致し迅速御用辨可仕候
營口南永世街第二市場ゟ西へ入る
運河運輸　同濟公司

料理店
滿月
平野町（電一六二）
滿月支店
平野町入口
店主　青木勝惠

來る二十六日軍政二週年祝の爲自轉車にて市中ねり廻り仕度候に付御贊成の御方は日本町木村寫眞館向練習場迄御申込相成度候也
日本町
中村自轉車店

和洋會席　御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町
日本館
（電話百三十）
各位樣

營口永世街八一號
第二市場停車場前
（電話一七一番）
日華製藥合資會社
社長　山田長
擴張主任　御前正之助
出納主任　中里巳午太
外一同

電話至急讓受けたし御不用の御方は當局へ御知らせを乞ふ
元神廟街
飯塚工程局

東京守田　寶丹　本日より發賣
今般營口占領二週年祝とし特別廉價販賣仕り候間御用の方は左記の處へ御注文又は來談ありたし
滿洲一手販賣　營口二本町菊水料理店內　東洋堂
一永世街　中馬藥店
仝　淺野藥店

醇良日本酒
金露
大販賣
孔雀印平野水
サツポロビール
和洋雜貨　洋酒化粧品　酒類　食料品
千賀洋行　奉天鐘樓南大路西
千賀洋行支店　奉天小西關大街路北

土木建築用諸木料
板硝子類
マルソイド便利瓦
九州セメント
オールドスコツチウヰスキー
廉價販賣
營口靑堆子綏定門外
志岐組　商業部

喜久洋行
啓者本行專售東洋各種木料板片及亞鉛洋鐵瓦東洋大塊炸子消毒生石灰洋釘木炭等物敝行在靑堆子自置棧房堆積貨物裝船裝車一概方便物美價廉格外公道倘蒙　中外紳商賜顧者請到本行面議是荷
開設永世街第二小鐵道市場路東
本行主人謹白
(電話一五二)

○板材木　○蚊張
○金物類　○金庫
○疊建具　○花莚
○椅子テーブル　○ペンキ
○洋燈類　○文具
○鰹節雜魚　○紙類
○酢醬油　○罐詰
○其他雜貨色々
新荷着大安賣
㊂
營口西北街
石光洋行
遼陽西門外
石光洋行支店

新荷着
裝飾用簾　洋食用品　肉碎器　秤卅六貫以下種々　手提金庫　コツピー用附屬品
(電話五號)
窓掛及附屬品　夏帽子各種　戶田式濾水器　宇治新茶　ワイシヤツ及カラー　學校用文房具各種　各種複寫簿
關東公司雜貨部

氷
田庄臺大盛貯氷公司　軍政署御認可濟　飲料好適
發賣元
營口元神廟街成功號三階
田庄臺大盛貯氷公司販賣部 (電話一三四)
特約店
大連信濃町市場前　大原商店
營口二本町　丸山氷室
營口永世街　衛生軒
營口永世街平野町角　山田氷室
營口第二市場前　松木氷室

廣告
スペシヤルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尚夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり
高等麥酒スペシヤルライト
本月一日より麥酒取引は一切現金にて御願申上候
六月
釀造元　大日本麥酒株式會社
滿洲一手販賣店　營口元神廟街　關東公司雜貨部 (電話五番)
分店　奉天四平街電話十三號　關東洋行

自造
煉瓦●瓦
並に各種石材販賣
營口靑堆子
加州組
(電話八十六番)

りん病
せらかち
ボーコーカタル
即ち花柳病の特効新藥
(醫藥學細菌學應用　萬國陸海軍局方參照)
登錄商標

THE RINBYOGAN
一回一九服用
博士
りんべうがん
麻病丸
御禳與方藥
藥價　三日分三十錢　七日分五十錢　十七日分壹圓
小包料十錢
取次全國各地及淸韓各有名藥店
大阪江戶堀下通三丁目 (電話西千五十九番)
本家
安々堂藥局

複方
痳病丸 (白濁奏)
此藥耑治白濁五淋赤白帶下及痳病初起之腰痛發熱痙攣疼痛男子生殖器病女子子宮病服之應手奏効不可疑聖藥也宜用嘎洛不洛散洗淨患處則奏愈速
批發所　營口永世街警務課東隣
回天堂大藥房
電話百九十號

滿韓境上唯一樂園
五龍背温泉
安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半
温泉場ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁
眺望絕佳今ヤ新綠滴タルノ下淸流掬スベキノ仙境タリ
當温泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ
効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、痳病等ニ特効アリ

登錄商標
キ
美術珍柄種々
新荷着仕候間御來觀之程奉希望
永世街
木村呉服店
電話八十八番

資本金參拾萬圓
日淸合股
昌
營口元神廟街第貳九八號
滿洲昌圖株式會社營口分局
總局　盛京省昌圖府東街
既設分局　牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽
本公司經官准認眞開辦左開生理
一、東淸鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房
兼辦關內外鐵道及海外轉運(與大淸通運公司連接)東淸鐵道沿路樞要各站分局現方在設備中倘蒙賜顧貨客親自到本號房及各處分局開房面議貨物特價諸客商來往妥爲照料途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按卸地市價包補此佈

淸國の情況を知るは現下の急務なり淸國の情況を知らんと欲せば先づ組織の眞相を知らざる可らず老帝國政府の眞相を知らんと欲せば乞ふ斯書を一讀せよ
支那叢書第壹編
支那政府組織　全　定價一圓
軍人諸君には特に一割引とす部數に限りあり至急御申込あれ
販賣所　營口重盛街　滿洲日報社

工
營口元神廟前
飯塚工程局材料部
(電話百三十五番)
弊局土木建築材料品の各產地と特約を訂び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

病室增築輕便入院
是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に增築し輕便と懇切を主とし一層院務を擴張し汎く專門の功果を收とす
○全身魔醉○局處魔醉○
○嶄新器械○無痛手術○
○梅毒○婦人科○外科胃腸病
專門
日本醫院

松岡病院
牛莊松岡病院
內科外科眼科婦人科診療
入院治療を諾す
殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血淸療法を施す
元神廟街第百三十四號
全科醫士　松岡玄雄
(電話一五一番)

新着
恵比壽ビール
YEBISU TRADE MARK
登錄商標
DAI NIPPON BREWERY CO. LTD. TOKYO JAPAN
大日本麥酒株式會社製造
金升洋行
盛進商行

行
山海關發前八、一五　五、〇〇　北京發前八、〇〇
塘沽同后二、一〇　四、一〇　天津同　一一、〇九　六、一五
天津着三、二四　五、五五　塘沽同后二、三一前一〇、四五
北京發三、四　山海關着　六、一〇　六、一
北京着六、四五
大石橋發前八、〇五　后二、〇五　大石橋發前七、三五后一〇、三五
南關嶺后九、〇七翌后二、〇七　奉天同后三、五七前六、七
大連着同九、五〇　同一、二五　鐵嶺着同七、三一同一〇、三五
同　沙　昌　一、二五

宮門抄

二十五日
戶部　宗人府　正白旗值日無引　見　王中堂假滿請　安　新授直隸知府錫齡阿謝　恩　連順請假十日
召見軍機　錫齡阿
二十六日
禮部　太常寺　正紅旗值日吏部引　見七十七名　禮部奏請萬壽禮節
召見軍機

上諭恭錄

二十六日奉
上諭禮部奏萬壽聖節禮儀一摺着在　仁壽殿行禮停止筵宴餘依議欽此

奏議

直督袁奏釐訂常備軍退伍章程并續備軍現行辦法及營制餉章摺（續昨報）

續備兵條例　一各兵所謀何業及寄居何處或謀遷徙皆須於十四日內稟明隊官分別轉稟註册倘距原籍較遠至千里以外調操之際情願在客游地方與續備兵會操者於每年六月內稟報本籍隊官申報兵備處分別知會始准在彼會操並發給應加餉若所在地方尚無續備兵者仍回原籍不得規避　一調操之月各兵身有重病或有婚喪事故者應先行稟明查實豁免　一各兵謀生不得投入他營兵籍若聘爲學堂外場敎習及他營官長者須稟明核准方可往就但仍供續備之役將來遇有戰役仍歸常備兵調用　一各兵在籍實業及長年旅行或有殘廢病故等事由管帶按季分報本鎭統制暨兵備處轉報督練公所存案　一目兵在籍凡有免徭倩抱各項優待一如在營時地方官宜格外保護　一各兵與居民因事涉訟由地方官會同隊官審辦其情節重大者由隊官革交地方官按律擬辦分別稟報　一各兵所犯有涉軍規者悉按軍律辦理　一續備兵在籍如有結黨立會能市抗糧窩娼局賭包□詞訟武斷鄉曲等過犯均照平民懲辦　續備兵調操章程　一續備兵調操之日按棚編定人數目兵各全餉自本籍起程之日起至回籍之日止應按日計算以一月爲准　一應用槍枝並無篩彈鼓號應向軍械局請領一每營用號兵二名須由各目兵中選派每營發給號牌一本俾資練習　一應用官長目兵帳棚按人數向餉局請領　一應用鍋擔瓢杓准按人數籌備開報事畢存留下屆再用　一鋪草銀兩每名每天照章准領一分八釐　一目兵飯食即就地購辦毋庸再領軍米以省周折　一官長加領公費暨各棚柴草僱用火夫一切事宜均照章辦理　續備軍營制餉章（薪水公費均比照常備軍減支）管帶一員月支五成薪水五十兩二成公費二十八兩共銀七十八兩（調操之月公費按六成開支應加銀五十六兩）隊官五員每員月支五成薪水二十五兩五成公費五兩共銀一百五十兩（調操之月公費均加一成開支共加銀五兩）排長一員月支八成薪水二十兩（調操之月加公費銀五兩）正兵約七百名上下每名月給減餉一兩約七百兩（調操之月按棚應派正目約五十名月各加餉四兩一錢約共銀一百零五兩其餘正兵約六百五十名月各加餉三兩五錢約共二千二百七十五兩）書記長一員月支減成薪水銀二十兩　司書生六名每名月支減成餉銀十兩共六十兩（管帶一名每隊一名）　差兵十五名（由退伍正兵內願充差者挑派每名月加津貼二兩二錢共三十三兩管帶用四名隊官二名排長一名調操之月各加津貼一兩三錢共銀十九兩五錢）火夫七名（每名月支餉銀二兩三錢共十六兩一錢管帶隊官排長各用一名調操之月每名月加餉七錢共四兩九錢又調操分棚時每棚添用火夫一名約加五十名每名餉銀三兩共一百五十兩統共調操共加銀一百五十四兩九錢）柴價　（調操之月共需銀一百七十五兩）　帳棚衣履（另行籌撥）　以上全營官長目兵約七百三十六名每月約共需銀一千零七十七兩一錢十二個月共約一萬二千九百二十五兩二錢又調操之月應加薪公餉項柴價共約二千八百九十餘兩　常年約共需餉雜銀一萬五千八百餘兩（軍械價在外）　（已完）

中外要聞

●平山吳令撤任　日前正定府平山縣因捐欵辦理不善致縣民糾衆抗捐拆毀學堂現由保定警局總辦往查實因知縣吳慶坡不洽民情所致稟袁宮保飭毛方伯將知縣吳令暫先撤任回省查看聞袁督尙擬嚴參以爲勒捐鄉民者警

●塔城購機免稅　塔爾巴哈台辦事大臣爲杜俄人垂涎開採石油礦產購新式機器一節特電商部轉滬道所有機器請居時免稅放行

●比不允贖津電車　天津電車聞紳有遞呈袁宮保及徐大軍機請收回自辦之議惟比商沙多以開辦時期尙淺未獲絲毫餘利故決意不允

●移撫南寗緩議　廣西桂林巡撫擬移駐南寗一節早誌茲報雖由林中丞具摺入奏然回移撫修署一切需欵五十餘萬經費無著故已從緩議

●京張路浮橋失愼　聞京張鐵路工程司原定於本月杪將由京修至南口鐵路一段交齊嗣因日前沙河以北浮橋一座不戒於火遂被焚毀現經詹觀察查明稟悉督辦大臣將該段查工各委員一律撤差矣

●復議重興海軍　政府議擬與復海軍此說殆非一日前日諸大老又提此舉以海軍爲至要之圖且今海賊充斥會匪潛滋若無精壯大隊之師何以奠海疆而資鎭攝應即商之各該督撫妥籌辦法預措的餉推廣訓練水軍力加振頓俟有端緒再議添設海部藉資統轄以期逐漸擴充

●擬添憲政研究所　聞政府王大臣會議政治館事宜以編輯政治全書及立固憲政之基礎關繫重要擬於館內設立研究所一區專備講求一切憲政以便恭酌舉行

●學部新定赴東游學簡章　學部以近來游學日本者人數較多程度不一特定選送游學簡章通飭京外各學堂一體遵照大略如下　一資格宜限定學長期者除習淺近工藝僅須預備語言於學科無庸求備外凡欲入高等以上學校及各專門學校者必有中學堂以上畢業之程度且通習彼國語文方爲及格有一不足應先在本國補習學短期習速成科者或法政或師範必須中學與中文俱優年在二十五歲以上於學界政界實有經驗者方爲及格無論官費私費長期短期必品行端謹無劣蹟身體強健無宿疾否則不送　一期限宜畫一　日本各學校以西歷四九兩月爲期之始選送學生除需才太急不能久待且核計人數能自成一班者可以不拘此限外其餘無論長期短期官費私費宜按道里遠近預計程期使到東之日恰在開學之前平日概不零星派送經通電各將軍督撫查照辦理在案查辦理游學京外自宜一律嗣後在京各部院及各學堂呈請游學各員生應查照擬定大畧辦法由該衙門該學堂開具該員生品格學力年歲暨入何項學堂咨送學部並應來部考驗及格再行核准發給咨文以歸畫一

●擬改良旗綠營制　聞練兵處王大臣會商查定例旗綠營制一切章程備極詳明祇因日久相沿寖忘精意風雲遞變莫守良規官不知學兵失其敎遂至窳敗日深現在整頓武備立自強之根本振尙武之精神亟宜改良旗綠營制法度務求變化通裁以期允當不惟目前整頓之計實爲將來經久之方於兵學大有裨益云

●盜搶東交民巷錢鋪　聞二十四日晚九點鐘時有強盜數名倏在東交民巷天興號刧掠銀錢店夥知之連呼求救巡捕聞警至該號盜遂放手鎗異常危險盜遁至御河橋有俄兵出而攔阻於是強盜進退維谷絕其逃路乃連放手鎗見俄兵傷逡巡奪路而遁旁觀者雖如堵然皆懼其兇燄瞻前顧後畏首畏尾無一人敢近之者幸有巡捕數名決死追之遂俘其一名其餘強盜皆遠竄無踪乃將其一盜解交巡警局刻正在究問同犯之際聞此役俄兵華捕各有二名受傷者有車夫一名亦受傷云

●擬挖香山紅煤　聞有職商劉君現勘得京西香山碧雲寺一帶有紅煤礦苗甚旺頗合冶鐵之需現已招集股本擬不日稟請商部立案矣

●議擬設裁判官　聞外務人云各堂憲會商擬在各省開埠之區添設裁判官專理交涉事件以收治外法權

●練兵處改派留學監督　前年練兵處因各省所派東洋留學武備各生人數日增非派專員監督殊不足以資管理特選派趙大令理泰爲武備留學監督近因陸軍留學生不能入士官學校交涉未能得手又有某學生密稟練兵處以趙監督遇事顢頇不能據理力爭動爲人所挾制以致事事棘手故練兵處就趙令此次來京擬另派差使不令再回東京現已改派京旗學堂監督李都戎士銳爲武備留學監督前往接代繇李監督本陸軍留學生出身與良副使章監督均係同學曾在士官學校卒業於留學情形素稱熟悉定能措施得當云

●擬調警務人員　聞巡警部堂憲因部務紛繁仍屬乏才任使現擬將外省熟諳警務人員奏調來京差委大約其意注重直隸湖北兩省官員耳

●英德兩皇會晤　英皇愛華德擬赴馬林巴杜市路與德皇維廉會晤（不赴柏靈）刻已預備一切想見英德邦交日形親善也

●法議院之紛擾　法國議院提議須使特列菲斯及比克瓦杜二君復任於是議塲紛擾殆不可制現由議員稟請將士嘗搆事陷害特列菲斯者其罪難免宜按律免黜又有議員普克爾西晉政府怯懦無爲內務侍郎達蘭君竟撲擊普君於是議塲益形混亂即由議長暫命停議

●法侍郎因鬪被刺　法國議員普克爾西與內務侍郎達蘭持劍互鬪達蘭竟被刺貫腹頗有性命之憂

●英相注重減兵備事　英首相巴那曼君聲稱於議院秋間開議之際與議員擬考核兵部尙書波爾甸君提議減兵備一案然不得漫然討議將該案致有窒礙之舉

●法議定特君案　法國議院贊成由議員提議使特列菲斯復任一節然不允認將與特列菲斯有隙者一律免黜

●俄派員赴萬國會議　俄國議院決定特派專員六名以叅列於英京倫敦開催萬國議院會議

●日本早稻田大學畢業　早稻田大學堂日前舉行畢業之典畢業生約計六百名內有中國留學生畢業者九名內優等畢業者一名

●日本任婦人入官　日本遞信省擬採用婦人充用判任官當於日內頒佈曉諭並各官署亦當仿照遞信省辦理

●日本撈起沉艦　日本擊沉之俄國戰艦納維克號日俄戰時於樺太島擊沉於西七月十三日從事打撈於十五已經撈起

雜報

●戀姦忘返　昨聞埠民傳云舊有流民馬姓夫婦係山左靑齊原籍因年景荒歉携帶伊之二女於先緒十九年流落海北遂在營埠　居是年長女十齡次女八齡業均在家受聘越六七年因艱窘無度先將長女私聘於韓家寓舖里胥張甲爲妻又越二年復將次女亦私聘於東鄉張乙爲妻過門牛載乙乃遭禍遠逃經年不返該女不能久守帷簿恣意外交乙知之竊歸捉姦其妻與張甲之宗弟張丙爲繼室是甲丙兄弟猶爲僚壻而二女姊妹猶爲妯娌矣詎丙貌殊蠢陋該女惡之常不與丙同床時馬妻已故馬翁老而無恥乃與東村王嫗嬪交有家焉之意嫗有一子年少風流該女藉認嫗爲繼母之後常往歸甯遂與該子情好海誓山盟相約偕老而馬及嫗亦甘願遂兒女之私情不加拘束任其所爲而已於是丙每喚該女歸家而女絕不返因忤張甲夫婦之怒恨該等全無廉恥於旬前某日各懷短刃往尋馬等洩忿詎入門方交數語卽行決裂而其翁壻姊妹幷力操戈時幸被人解阻未及毆鬥成傷聞甲奔向二道溝巡警營處鳴寃即將馬嫗子女等全行拘去未聞後事如何云

●小竊猖獗　本埠西溝沿有李姓貧婦日在街市收攬汚穢衣服全家與人漿洗潔淨賴以爲生於昨夜晚間有竊賊入院用尖刀撥門振振有聲其婦聞之手足無措驚恐異常遂大聲呼救幸有近隣聞悉齊聲大呼藉資驅逐盜始竄去臨行猶憤恨曰三二日後再見看我手段何如似此竊盜橫行孤貧婦人何以自衛有巡緝之責者急宜設法巡查以期暗爲保護不致令該竊賊復肆猖獗云

●靑皮凶惡　昨午後有一本地靑皮衣履鮮明風流自賞持傘搖扇意氣昂然在大官塘北沿剃髮舖剃頭另外小活若擰鍋圈若編小辮諺所謂滾邊出鋒鑲沿者無不備之事畢共計錢一吊四百文顧其姿媚居然女流決無一毫丈夫氣奈手內無錢遂向骨中挑刺譖其伺候不周活計草率並斥剃髮匠用刀不愼傷及長髮數莖怒容可掬暴躁如雷因此互相爭論適有同在薙髮者出爲鮮勸令伊免給工資某靑皮始罵不絕口逡巡而去

局
東靑堆子橋南　淡谷木廠
料理　前南江入ゐ
尙以後吉林長春ヘ有之上ハ聊カ御示談申上度義ニ之候ニ付御都合上御來訪ヲ乞フ

報
昨日の氣温
昨日　最高溫度八十三度七　最低溫度七十四度一
昨年同日　高三度〇　低六度三

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館料理 第一樓 營口ホテル 元神廟街九十六號（電話八四番）

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

料理 一力 營口永世街 店主 堀万助

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東京樓 營口新市場前（電話一七六番、四四番） 店主 熊田象次郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 高砂ホテル 西北街（電話一四五番） 店主 片山小みつ

料理 樂々亭 營口元神廟街 店主 武部貞

旅館 大和館 永世街三十四號（電話十一號） 店主 前田九一郎

料理 萬梅 營海門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町二百平九号 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

料理 喜樂亭 營口平野町

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

料理旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

さるそば 第一更科 さるそば 第二更科 營口元神廟街 永世街鶴の湯

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一四三号 店主 住松信太郎

料理 都樓 平野町 店主 阪本ちか

旅館 品川館 營口永世街一六五號

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野真吉（電話　號）

會席御料理 高等御旅館 天神樓 温泉付大勉强キレーヂライシヒ 奉天小西關大街南側（電話　號）

旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男（電話　號）

御料理 梅ケ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店 日章館 奉天小西關大什字街南へ入（電話　號）

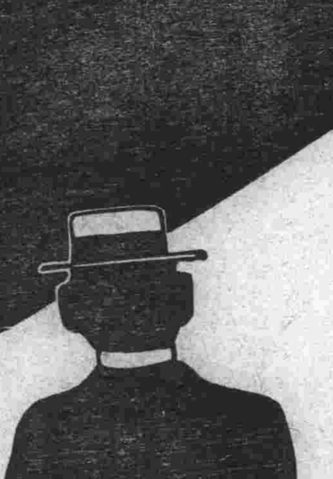
御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

御定宿 第二東京館 奉天小西關第五分局八〇一〇號 館主 松田平四郎
今回弊館組織に大改良を加へ清潔閑雅を主として旅館を專業に單ら御客樣の御便利を斗り內湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館 料理店 梅松館 奉天城內灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話　號）
今回弊館座敷增築の上清潔廉價を旨とし川魚（鰻丼蒲燒）等をも新調且つ仕出等致し御中食には至極御便利に御取り計ひ可仕候多少に不係御用命の程偏に奉願上候

新築廣告

鐵嶺西門外停車場通り商品陳列場附近
西洋風日本建 貸家 間口三間奥行四間 八戶
右は鐵嶺屈指の地にして目下建築中に付本月下旬には落成致候間御希望の御方は至急御來談あれ
明治三十九年七月
營口西北街 裕和盛號
鐵嶺東門外大街 裕和盛支店
鐵嶺支店雜貨部並に鐵道河運輸部を今回落成仕候間移轉の上は大改革を爲し貴需に可應候條御引立の程伏て奉願候



營口 加藤洋行

新着

麻座蒲團、新茶、浪花簾、竹製椅子、簿記卓子、コッピープレス、謄寫版、日の丸提灯、ハンモック、蚊張、枕、印刷用紙、茶道具、蠅入らず、漆器各種、帽子、靴、レモン油、理髮道具、フートボール、

煉瓦販賣
上り竈ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニテ御需メクダサイ
二本町 高坂洋行煉瓦販賣部（電話九十番）

和洋 高等 御料理 遼東館 遼陽城內東街十八九號 電話　號

御料理旅館 三河樓支店
弊館 奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に宏壯なる日本家風の二楷造屋新築し樓上等も暑に應ずる設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候以上
樓主 川上總吉

料理店旅館擴張廣告

四方各位益々御清榮奉賀候陳者弊店儀曩に滿洲樞要の都府に當る當奉天小西門外什字街に料理店旅館開業仕候大方紳士紳商諸彦の御引立を蒙り日に增し盛大を來し從つて家屋手狹まを感じ候に付今般一層業務を擴張し更に本店を當府小西關に新來營衞衞に設け以て專門の料理店をなし日本式ナ宴會（百人迄の設備有之候）並に歌舞演藝に適する樣大廣間落成致し候に付き此際本支店共奮つて一大改良を施こし親切叮嚀に衞生と淸潔とを主とし精々勉强廉價に相務め可申候間尙一層之御愛顧御引立の程伏而奉冀上候 敬白
追而料理店旅館の位置は奉天小西門より二丁西方に當り市街輕便鐵道を中心として旅館は右方へ約一丁餘料理店は北方へ約三丁有之候間御來駕之節は路上の目標に御注目被成下度特に願上候

奉天小西關新來當街々 御料理 本店 金城館（電話十九）
奉天小西門街大什字街 御旅館 金城ホテル（電話一〇）
營口永世街 御料理 支店 金城館（電話八三）
營口永世街 御旅館 支店 金城ホテル
大連市吉野町 御料理 支店 金城館
大連市吉野町 御旅館 支店 金城館

旅館 御料理 扶桑館 奉天大西關大什字街第五分局千〇六十八号 館主 堀田ハル 電話　号

和洋 御旅館 御料理 奉天軍政署指定旅館 奉天館（電話十四番） 奉天城內鐘樓南大街

日清倶樂部（電話十五番） 奉天城內大南門裡大街
麵麭製造 西洋洗濯 靴製造 日本大工 理髮 裁縫
氷御小賣所

爲替相場（七月十九日）
日本向 百〇一圓七十五錢（日票百圓に付）
上海向 七十一兩二分ノ一（同）
天津向 一百四圓十二錢五厘（同）
芝罘向 一百〇三圓六十二錢五厘（百弗に付）

日本品最近物價表 加藤洋行
紙類
一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓皆口
一美濃紙 仝 七圓五十錢
一仙花紙 一帖（六十枚） 六十錢
一塵紙 一〆 一圓七十錢
一仝 状袋 二十枚續 三錢二厘以上四錢
百枚 十三錢以上十八錢
室內裝品飾及寢具 矢野洋行
一蒲團 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
一座ブトン 十帖 八圓五十錢以上三十五圓
一疊 五圓五十錢以上十四圓
一疊 十枚 二圓六十錢以上三圓
一薄緣 一疊敷 八圓
一麻緞通 仝 三圓
一綿緞通 仝 三圓五十錢
一由加多織 一圓七十錢
一白毛布 二枚綴 八圓以上十五圓

諸鐵工製作
鑛山機械 船舶機械 輕便鐵道附屬鐵工 土木建築用鐵材料 其外鑄物諸般
營口ブリッジ 綏定門商會街東 喜川鐵工所

土木建築並ニ測量設計請負 營口青堆子綏定門外 志岐組

御披露
小亭義者樣の御引立を蒙り日に增し繁昌に趣き候に付て今般京都より指折の藝妓一名及仲居を呼寄一層勉强仕候小亭の特色たる安價と輕便とを以て御客樣の御厚意に酬ひ度候尙夏向き丈は別に氷部を設け金時白玉何なりと御望に應じ可申候間何卒倍舊御引立の程伏て奉願上候
月　日 元神廟街 翁亭

靴製造并に修理
右安價を以て確實迅速に調製可仕候間御注文の程奉願上候也
營口元神廟街郵便局官舍向ひ 桑田靴店

石材 石灰 大販賣 英治洋行（營口西北街）（電話三二）

大弓大會
來二十二日（日曜）午前十時ヨリ開會
尚武軒（軍政署南側）
大月並競技會（會費一圓 飛入一勝手）

氷店 公園地
アイスクリーム及洋酒果物等も冷したのを備付至極安價にいたしますから御遊びの節御立寄願ます
公園地 氷店

西海洋服店 歐米各國最新流行形 永世街一四一（森病院三軒目）（電話百二十七號）

營口 三友洋行雜貨部廣告
新荷着
高等化粧品各種 新柄テキタイ
旅行用鞄及靴 氣發油ランプ
新形夏帽子及鳥打帽子
雨合羽 長靴 姿見鏡 各種
四季造花
御婦人用小間物

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.
$4.80 per 6 months.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ヶ月前金 銀八十仙
半ヶ年前金 四弗八十仙
一ヶ年前金 銀九弗六十仙
廣告
二十一字詰一行一回 銀二十仙
特別廣告 銀四十錢